

段を將軍義持公へ言上に及びまする、將軍義持公も一休禪師と聞き細を解かせ御手許に呼んで、和尚に向ひ「義、コリヤ禪師、何んの爲めに今夜踊りの妨害をいたせしぞ」一休「イヤ、決して妨害はいたしません、彼れも喜び我れも喜び、彼我同樂、共に樂んで居りました、義、ウム……して今の音頭は……」と御尋ねになりました、よつて一休禪師は「一休、公は假りにも天下國家の政治を預る將軍家、些細な下民共に踊りを申し付け、それを御覽になさらずとも、今天下泰平とは申しながら、他に目利をする事も多くありませう、腹が膨れて能ふ實が登つた、踊れや踊れと申せしは、豊年となり、豊年となりますれば、自然に民百姓共の仕合せとなるでございませう、上に立つ人々が我が目を慰むる爲め、又は耳を喜ばせる爲めに、下々の者に斯かる事を申し付けるは、甚だ宜しくあるまいと拙僧は考へます」と、苦り切つて御返答に及びました、將軍公は此のことを聞いて、

何んとも仰せられず、其の儘御館へ御歸りと相なりました、禪師も聽て衣類も着替へて、檀家の者を打ち連れ立ちて御歸りになる、是れは一休禪師が將軍家に對し、其れと無く御意見に及ばれたので、將軍足利義持公も是れが御判りに成りましたもので、早速營中へ御歸りに成り、日ならず仰せ出されましたのが、此後益踊りは廢すと云ふ事を、奉行を以つて御沙汰に相成りました、是れに依つて都の人民は大きに打喜び、實に禪師様の御意見は、御自分先きに立つて踊りを踊り、足利將軍を諫めて、下々の者の難義を助けて呉れたと言ふので、益々禪師の御評判も宜敷う相成つたのでございませう、サア是れより急々一休禪師が、蜷川の左衛門を連れて伊勢參宮の道中に於ける珍談奇話、及び關の地蔵開眼と言ふ禪師一代の逸話、引續いて野晒吾助の一條、地獄太夫の問答より、諸國漫遊中の頓智頓才の御話し杯、實に愉快の講談に移るのでございませうが、

例に依つて紙數に限りが有ります故、本編は此邊りにて御預り  
 と致し、次編に於いて右大眼目を講じ續ける事に致します故、  
 相變らず御愛讀の程を偏へに願ひ上げます、右次編の表題は、  
 「**和尙諸國漫遊**」として、引續き出版致します、善故、本編巻頭  
 に申し上げましたる、一瓢が十八番講談の手前味増に非らざる  
 事を、御購讀の上御承知を希望致します。

悟道  
 問答  
 一 休 和 尙 終

明治四十四年四月一日印刷  
 明治四十四年四月五日發行

一 休 和 尙



講演者 三省社 一瓢  
 發行者 松本善吉  
 印刷者 山田元吉  
 大阪市南區安堂寺橋通三丁目二十六番邸

(會協版出說小阪大)

賣捌元

大阪市南區心齋橋通安堂寺町南入  
 田中宋榮堂  
 大阪市南區八幡筋四橋堀角  
 島之内同盟館

新講談小說續刊目次

玉田玉秀齋講演	藤浪由縁之丞	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	忠勇初浦尾上之助	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	義勇野澤要之助	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	豪勇白山雪若	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	豪傑梵天丸	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	猛將伊達獨眼龍	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	豪勇佐久間小彌太	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	勇婦松々枝	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	竹生島大仇討	菊版美本全一冊
柴田 薰講演	熊谷稻荷由來 熊谷靜夫	菊版美本全一冊

松本金華堂發行



新講談小說續刊目次

玉田玉秀齋講演	悲憤青年	竹村俊秀	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	俠骨	若松屋小蝶	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	道灌山之仇討	長岡久茂	菊版美本全一冊
一龍齋貞山講演	無敵流	後藤半四郎	菊版美本全一冊
三省社一瓢講演	一休	和尙	菊版美本全一冊
三省社一瓢講演	一休	諸國漫遊	菊版美本全一冊
三省社一瓢講演	和尙	地獄太夫	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	寬永	鬼塚軍之助	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	寬永	大友小次郎	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	寬永	龍造寺五郎	菊版美本全一冊

松本金華堂發行

新講談小說續刊目次

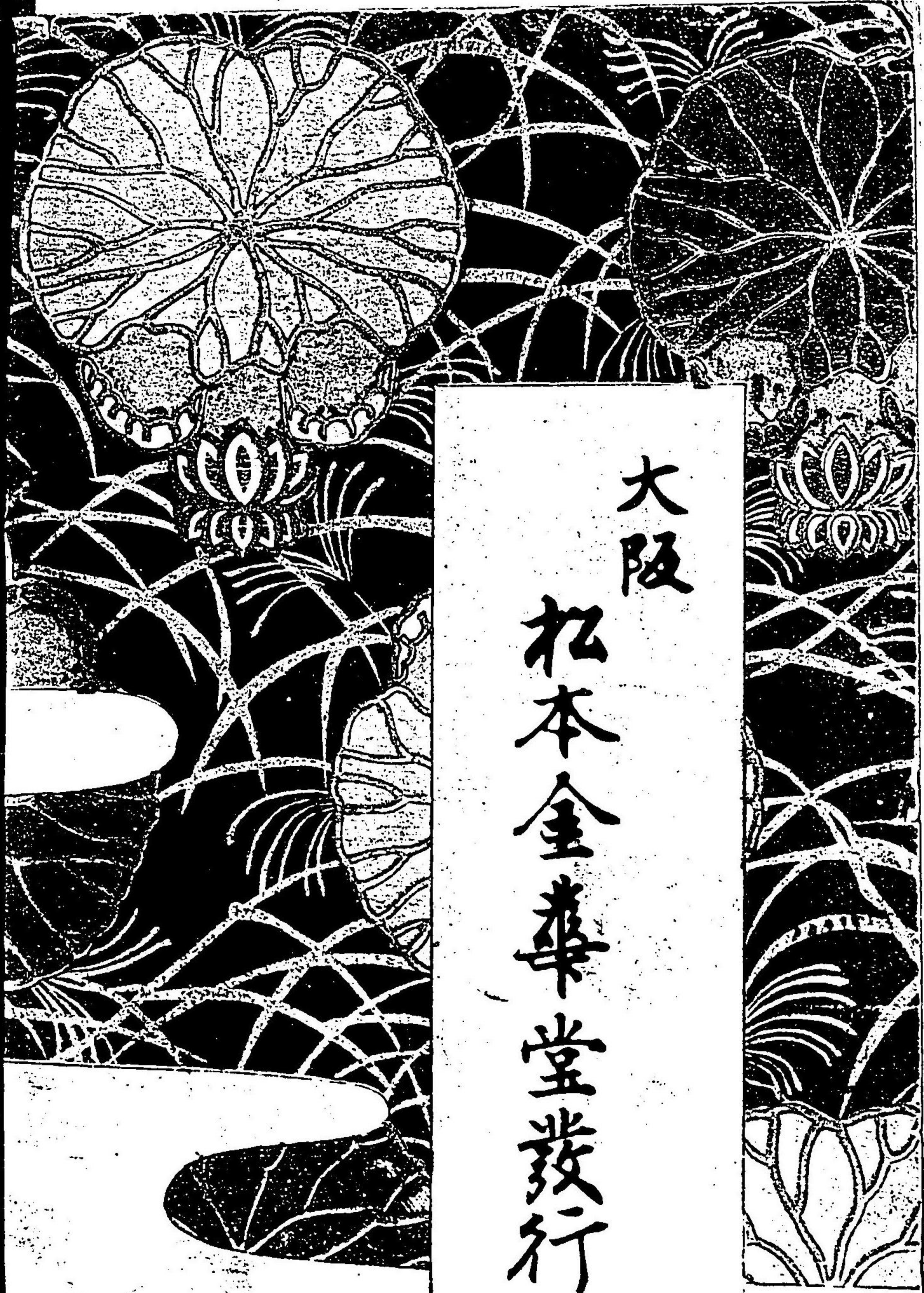
玉田玉秀齋講演	八重垣主水輝秀	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	勇婦 八重垣お菊	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	姫路騷動 小寺家大評定	菊版美本全一冊
桃川如燕講演	水吞村九助	菊版美本全一冊
桃川如燕講演	後の水吞村九助	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	眞田家 猿飛佐助	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	眞田家 由利鎌之助	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	眞田家 霧隱才藏	菊版美本全一冊
桃川燕玉講演	元祿 伊庭如水軒	菊版美本全一冊
桃川燕玉講演	元祿 伊庭お系	菊版美本全一冊

松本金華堂發行

新講談小說續刊目次

柳亭燕枝講演	千人塚の由來	菊版美本全一冊
柳亭燕枝講演	高岡左次馬	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	豪傑秋山要助	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	大善寺山仇討 雷角齋入道	菊版美本全一冊
一立齋文車講演	忠勇鬼奴の團平	菊版美本全一冊
一立齋文車講演	怪力金剛太郎	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	俠客業平文治	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	俠客後の業平文治	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	豪勇無双郷の虎丸	菊版美本全一冊
玉田玉秀齋講演	雪見岳大仇討 和田秀之進	菊版美本全一冊

松本金華堂發行



大阪

松本金華堂發行